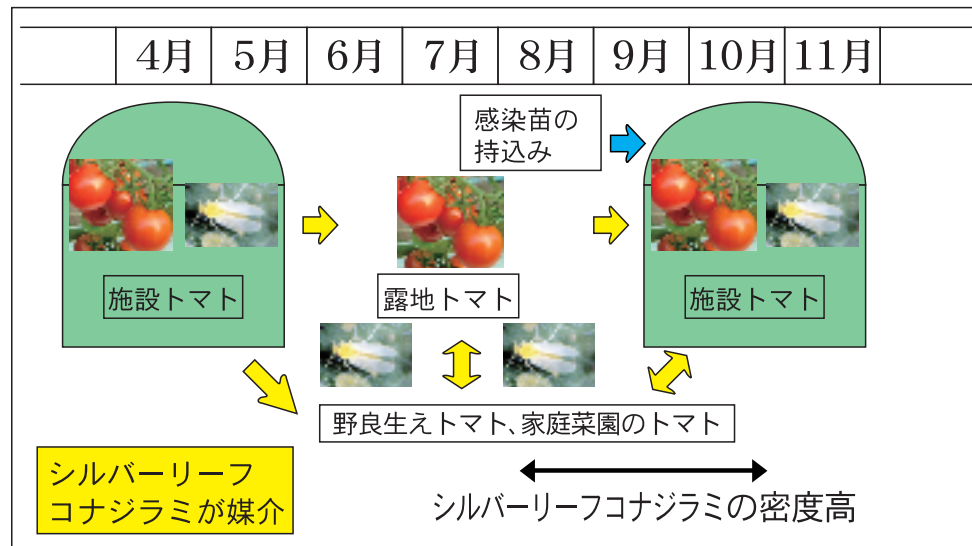


トマト黄化葉巻病の伝染環



03

シルバーリーフコナジラミの生態

- ① シルバーリーフコナジラミは、卵、幼虫(1～3齢)、蛹(4齢)を経て成虫になります。卵から成虫までの期間は、25℃で17.6日、30℃で13.6日です。
- ② 高温を好み、野外では8月～10月に最も密度が高まります。
- ③ 野外での越冬は困難で、施設内で越冬します。
- ④ 寄生範囲となる植物は31科78種と広範囲で、雑草ではセイタカアワダチソウやノゲシ等を好みます。

媒介虫シルバーリーフコナジラミ



成虫 (体長0.8～1.1mm)
左右の翅が離れていて胴体が淡黄色に見える



蛹 (4 齢幼虫、体長0.8mm)
黄色で中央部は厚みがあるが周縁部は薄い

04

防除対策

このウイルス病の防除には、発病株の徹底した抜き取りと、地域におけるシルバーリーフコナジラミの密度を低下させることが必要となります。トマト生産者はもちろん、家庭菜園トマトも含めた地域ぐるみの取り組みが重要です。

〈裏面につづく〉